

### 別紙 3

## 厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業研究事業）

### 分担研究報告書

#### 地域での AMR 対策の推進モデルの確立のための研究

研究分担者 倉井 華子（静岡県立静岡がんセンター 感染症科・部長）

#### 研究要旨

AMR 対策では病院、医師会、薬剤師会、行政、衛生研究所など他部門が連携し情報交換、分析、行動が求められる。地域により既存の体制や問題となる耐性菌の種類も異なることから、地域に応じた対策を策定することが重要である。診療報酬改定やサーベイランス普及に伴い地域でのネットワークは広がりつつあるがモデルとなるものは明らかではない。静岡県では先進的なモデルとなるよう、政令市を含む保健所、市町、県内医療機関や県医師会、県看護協会等の関係団体、研究機関など、様々な機関と連携し情報発信や対策の司令塔機能を持つセンターを設置。活動指針を令和 4-5 年度に検討した。全感染防止対策加算 1 施設が集まるカンファレンス、地域で問題となっている耐性菌情報交換会を開催した。

#### A. 研究目的

診療報酬改定やサーベイランス普及に伴い地域でのネットワークは広がりつつあるがモデルとなるものは明らかではない。静岡県では先進的なモデルとなるよう、保健所、市町、県内医療機関や県医師会、県病院協会、県看護協会等の関係団体、研究機関など、様々な機関と連携し情報発信や対策の司令塔機能を持つセンターを設置。センターの役割やあり方について提言を行った。

#### B. 研究方法

11 回の会議を通じ県の感染対策の中核をになう感染症センター設置について検討。情報発信、人材育成、教育資材、各種機関のネットワーク構築を固めていった。

#### C. 研究成果

#### 1) AMR 対策ネットワークの概要

2018 年に静岡県感染症発生動向調査委員会の下に AMR 対策部会が設置。

#### 2) 既存会議の統合と感染症管理センター

行政が中心となり、AMR および新型コロナウイルス感染症を含むその他の感染症、新興再興感染症に対する複数の感染症に対する会議体を統合。平時の連携体制および有事の支援について整備。

#### 3) 情報発信、教育

サーベイランスと情報分析、発信について行うシステムを設置。

感染症に携わる人材育成、加算外施設（未参加医療機関、福祉施設）に対する研修会を企画運営。

#### D. 考察と今後

静岡では行政主導のもとに地域ネットワークの基盤を構成することができた。他地域におけるネットワーク構築やその成果を今後調査する。

## F. 研究発表

### 1. そのほか刊行物

静岡県新興感染症等対策検討部会資料

[https://www.pref.shizuoka.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/024/185/siryo.r5-01.pdf](https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/024/185/siryo.r5-01.pdf)

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

